

令和4年度事業報告

I 環境保全活動促進協働事業

1 協議会会長表彰

◆個人3 団体4 学校2 企業1 を表彰

個人：藤原一功、藤田靖子、山本光慶

団体：福井市社西小学校PTA、コウノトリの郷づくり推進会、青葉山麓研究所
越前町ボランティア連絡協議会

学校：勝山市立勝山中部中学校、三方五湖子どもラムサールクラブ

企業：吉岡幸株式会社

2 ふくいまるごと環境学び舎

○環境保全活動の活性化を促すため、環境保全団体へのセミナー等を実施する。

◆環境ふくい未来創造事業助成団体へのアドバイスを随時実施

◆会員向けセミナーを開催

テーマ：近年の異常気象について(村田光広氏 講演)

いま私たちにできること(村田光広氏、桑原達秋氏、鈴木順一朗氏 トークセッション)

開催日：11月15日(火) 参加者数：31名

開 場：AOSSA 6階 601研修室

3 環境マネジメント推進事業【拡充】

◆水素利用普及を目的とした解説動画および環境マネジメントセミナー動画を会員向けに配信(3月)

◆・水素利用普及解説動画「次世代のために！福井の新エネルギー事情！～水素エネルギーの利用で脱炭素社会へ～」：(一社)ふくい水素エネルギー協議会 羽木秀樹 氏
・セミナー動画「太陽光発電と電気自動車を利用した分散型電力自立発電の実践」
仁愛女子短期大学准教授 帆谷和浩 氏

4 市町環境連携事業

○市町および市町の推薦する民間団体が企画する事業に対しその一部を助成することにより、県内一円の環境保全活動の活性化を図る。

◆10市町に助成

- ・福井市：環境フェア（11月3日(木・祝)）
- ・敦賀市：つるが環境フェア2022（11月5日(土)）
- ・小浜市：エコふきん推進事業（R5.2月～3月）
- ・大野市：自然ふれあい探検隊事業（6月、9月）
- ・あわら市エコ市民会議：ふるさと自然教室WG（7月11日(月)～12月25日(日)）
- ・越前市：アースデイえちぜん2022（5月15日(土)）
- ・坂井市：九頭竜川河口部清掃活動（11月27日(日)）
- ・池田町：河川クリーン作戦（4月10日(日)）
- ・南越前町：不法投棄防止啓発事業（R5.2月13日～3月10日）
- ・おおい町 森林楽校 森んこ：伐採竹農業ハウスの制作（6月20日(月)～11月30日(水)）

5 こどもエコクラブ活動促進事業

- こどもエコクラブへの登録を呼びかけるとともに、活動しているクラブへの支援を行い活動の活性化を図る。
 - ・助成団体数：1クラブ（福井市鷹巣小学校）
 - ・エコクラブ登録数：36クラブ、メンバー数：1,647人
 - ・「全国エコ活コンクール」壁新聞部門出品数：4点

6 SATOYAMA国内ネットワーク推進

- 里山里海湖における生物多様性の保全再生活動を県外へアピール
- ◆SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク
 - ・幹事会 11月開催（書面開催）
 - ・総会 1月12日（金）開催（オンライン開催）
 - ・交流会「ラムサールびわっこ大使」との交流会（12月16日（金）～18日（日）三方五湖）
- ◆エコプロ2022へ出展（12月7日（水）～9日（金）：東京ビックサイト）
- ◆いしかわ環境フェアへ出展（8月20日（土）、21日（日）：石川県産業展示館4号館）
- ◆生き物ぎょうさん里村パンフレット作成



7 専門家による団体サポート事業

- 団体等が抱える種々の問題（団体経営、情報化等）に対して専門家を派遣し、適切な診断・助言により、問題の解決、団体の成長・発展を図る。（最大5回。派遣にかかる謝金は環境ふくい推進協議会が負担）
- ◆派遣する専門家の分野 司法書士、行政書士、中小企業診断士、マネジメント、ICT 等
- ◆実績：なし

8 親子で環境活動推進事業

- 小学生の親子を対象に、『50の自然体験』に関連する自然体験イベントを実施
- ◆イベントでは今年追加した「地球温暖化を防ぐ10のできること」について考える機会を提供した。
開催日：11月20日（日） 参加者数：23名

9 プラスチックごみ削減推進事業

- ◆プラスチックごみ削減セミナーを開催
日時：1月29日（日） オンライン形式で開催 参加者数：36名
講師：三崎 剛（花王グループカスタマーマーケティング株式会社）、
浅利 美鈴（京都大学大学院地球環境学堂准教授）

10 オンライン環境向上支援事業

- 会員の「新しい生活様式」に対応した活動を支援するためオンライン環境の向上に対する助成を実施。（上限10万円）
 - ・オンライン活動に必要な機器などの購入費用への助成（購入費用の1/2）
 - ・オンライン活動に必要な機器などのレンタル費用への助成（レンタル費用の全額）
- ◆1団体に助成
 - ・ノーム自然環境教育事務所（インカム型コミュニケーションツール）

Ⅱ 普及広報事業

1 情報誌発行事業

- ◆「みんなのかんきょう」を協議会会員、小・中・高等学校等に配布(3月)。

2 ホームページ等による普及広報

- ◆ホームページやFacebookを活用し、お知らせやイベント情報を発信(随時)
 - ・ホームページ累計閲覧数 18,069件(R4.4～R5.3)
- ◆ホームページサーバーを移設、レスポンス化(スマホ表示最適化)を実施
- ◆Facebook
 - ・投稿回数57回

3 メールマガジンの配信による普及広報

- ◆「イベントお知らせ編」 24回【毎月第2、4金曜日】
- ◆「法令編」 19回【随時】

4 「ふくいっ子に体験してほしい50の自然体験」普及広報

- ◆「+地球温暖化を防ぐ10のできるこゝろ」を追加した冊子を印刷
各小学校新1年生全員に配布(令和4年7月15日(金))
- ◆ガイドブックホームページのスマホ表示最適化を実施

5 各市町環境フェアにおける普及広報

- 県内で開催される市町の環境フェアにブース等を出展し、環境について県民に考えてもらう機会を提供(R3実績:2回)
- ・5月15日(日) アースデイ越前2022(越前市)
 - ・6月19日(日) さばえ環境フェア2022(鯖江市)
 - ・9月23日(金・祝) さかいこどもエコひろば
 - ・10月1、2日(土、日) さばえSDGsフェス
 - ・10月22日(土) てつどう×かんきょうフェスタ
 - ・11月3日(木・祝) 福井市環境フェア
 - ・11月5日(土) つるが環境フェア2022
 - ・11月5、6日(土、日) 大野市 遊んで学ぶ!ECO遊園地
 - ・11月12、13日(土、日) 越前市まるごと食の感謝祭

<出展内容>

- ・県産木材ぶんぶんごま作り
- ・竹紙を使用した折り紙体験
- ・フードマイレージ
- ・足こぎ、手回し発電
- ・環ふ協の活動PR(パネル展示、パンフレット配布、エコチャレ動画等)

Ⅲ 県補助事業

1 環境アドバイザー派遣事業

○学校や自治会等が開催する研修会へ講師を派遣 85件（講師109名）

＜派遣分野＞

- ・自然体験：56件（78名） 環境教室：29件（31名）

2 リペア・リユース推進事業

○修理ボランティア人材の育成・団体への補助等を通じ、ものを修理して長く使い続ける社会づくりを実施

- （1）修理ボランティアの人材育成
- （2）リユースイベント開催団体への補助
- （3）古本市の開催

◆修理ボランティアの人材育成

- ・洋服とぬいぐるみの修理を行うための技術を取得する講座の開催（3月26日（日））
- ・おもちゃの修理技術を習得する講座の開催（3月26日（日））

◆リユースイベント開催団体への補助

- ・簡単な修理やリユースを行い、身近なところで団体が継続して活動していく体制を構築

◆古本市の開催

- ・古本市の開催（10月23日（日）ハピテラス）
- ・無人古本市の設置 ユーアイふくい、陶芸館、嚮陽会館

3 地球温暖化ストップ県民運動「ゼロカーボンアクション」強化事業

○地球温暖化ストップ県民運動「ゼロカーボンアクション」をさらに推進し、節電などを実践するゼロカーボンアクションの輪を広げる

◆エコチャレふくいの推進

- ・家庭の日（毎月第3日曜日）を統一行動日に設定し、季節ごとのテーマに沿ったエコな取り組みを多くの県民の参加を得ながら実施

◆「クール・ウォームシェアふくい」の実施

- ・夏（冬）に涼しい（暖かい）場所を提供するシェアスポットで滞在した県民に対し、QRコードを活用したスタンプラリーを実施

◆省エネ家電・住宅設備買替キャンペーンの実施（8月1日（月）～1月20日（金））

- ・省エネ性能の高い家電（3つ星以上）への買替や、窓や壁・天井の断熱改修を呼びかけることにより、家庭の消費電力抑制を促す取組みを推進

◆ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の普及啓発イベントの開催

- ・住宅展示場でZEH普及イベントを開催し、ZEHのメリットを周知

◆次世代自動車（EV・FCV等）の普及啓発イベントの開催

- ・車から自転車や公共交通機関へのシフトの呼びかけや、次世代自動展示啓発など、“移動をエコ”にするキャンペーンを実施し運輸部門のCO₂削減を推進

◆県民一斉行動キャンペーンの実施

- ・県民に対し、節電行動としての一斉消灯や、家族で集まって鍋を食べることによる暖房の節約などを呼びかけるキャンペーンを実施
- ふくいライトダウンキャンペーン（8月11日（木・祝））
- 家族一緒に鍋でウォームシェアキャンペーン（11月23日（水・祝）～12月11日（日））

4 県民主体の省エネ普及啓発事業

○若者を中心とした省エネ普及啓発活動を行う省エネ活動推進グループの自主的な活動を支援。

◆令和元年度に開発した省エネカードゲームのイベント等による普及啓発

- ・ 6月 5日(日) 第一回活動実施
- ・ 10月30日(日) 福井市のボランティア講座にてカードゲーム体験会を実施

◆若者の視点やアイデアを生かした省エネ対策をSNS等で発信

◆リサイクルイベント「越前クレヤルカエルde集まれ〜!!」にて、「あげるやもらうや」としてブース出展

- ・ 9月10日(土)

◆グループのスキルアップ講座として「世界の取り組みを聞いてみよう」開催

- ・ 2月 4日(土) (福井大学生、丸岡高校生などを含む26名参加)

IV 特別会計

環境ふくい未来創造事業

○環境保全団体の活動を支援

◆第1回育成支援部会(7月11日(月))において申請団体によるプレゼンテーションを実施

◆第2回育成支援部会(3月20日(月))において助成団体からの事業報告を実施

◆令和4年度採択状況

・スタート応援枠(団体を立ち上げてから5年未満の団体等への助成) 3団体採択

＜スタート応援枠＞

申請団体名 代表者名・所在地	普段の活動内容	助成を受けて行う活動の概要	助成 (円)
さとやま子育てコミュニティ いけだのそら 代表 秋元 美奈 池田町 ※令和3年度助成	○子育てコミュニティ 親子を対象として、週に2回季節に応じた自然体験活動を提供する。 ○森のようちえん 池田町内外の3～5歳児を対象として、月曜日～金曜日に、野外活動や季節の行事を中心に、少人数縦割り保育を行う。	【自然の循環を学ぶ野菜作りと販売体験】 ・腐葉土づくりから始め、無農薬と有機肥料による野菜作りの体験を通して、自然の循環を学ぶ。 ・栽培した大豆を用いた味噌づくり、収穫した野菜の販売を行うことで、自然を活かした農家の仕事を知る。	10万
一般社団法人 足羽山こどもとあそぶLab 代表理事 正木 宏幸 福井市 ※令和2年度助成	○福井市・足羽山における子育て環境整備、イベント、自然保護、地域活性化の活動	【CLEAN FOREST TOURS】 ・足羽山森林および遊歩道を清掃しながら、足羽山を練り歩く。 ・足羽山の文化的・歴史的な価値のある景観をガイドから学ぶ。 ・焚火を囲みながら、参加者で足羽山の未来について話し合う。	10万
NPO法人 森のほうかがっこう 空とぶ自然教室 代表 正木 宏幸 福井市	○子どもと森の育ちを中心とした事業 子どもの森遊び事業、子どもの宿泊キャンプ事業、親子対象のイベント事業、不登校支援事業、プレーパーク事業、講演活動 ○移動型のプログラムの開発	【空とぶ水族館】 ・魚を教材として、地域の河川の生態系をわかりやすく説明し、生きた魚を捕まえて調理する体験活動を通して、地域の河川に生息する魚や水辺の生態系に興味を持たせる。 ・いろいろな地域に移動して実施できる体験プログラムとするための試みとして活動する。	10万